

令和6年度

人吉高等学校 定時制課程

シラバス

4年

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	国語	科目	国語表現	単位数	2	開講 学年	4年
----	----	----	------	-----	---	----------	----

学習目標	<p>①（知識・技能） 言語能力の基礎を育成することを目指す</p> <p>②（思考・判断・表現） 表現能力を高めるための基本の力（認識力・思考力・感受性）を伸ばすことを目指す</p> <p>③（主体的に学習に取り組む態度） 現代人として生きるための言語感覚を磨くことを目指す</p>
------	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (14時間)	【言語事項】② 漢字の学び直し	<p>（知 技）常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになった。</p> <p>（思判表）主な常用漢字について、文や文章の中で適切に使い分けができるようになった。</p> <p>（主体性）習得漢字を振り返り、漢字検定に向けて目標をもつことができるようになった。</p>	<p>（知 技） 課題小テスト</p> <p>（思判表） 課題小テスト</p> <p>（主体性） 授業態度 課題提出</p>
	【自己PRと面接】⑪ 1 自己を見つめて 2 効果的な自己PR 3 将来の自分を考えよう 4 志望動機をまとめよう 5 面接にチャレンジ 履歴書の書き方 実践トレーニング(2) 表現への扉3 * 単元テスト	<p>（知 技）自分の特長を他者に的確に伝える方法を身に付けることができるようになった。</p> <p>（思判表）多角的に物事を見、情報を収集することで、自分のことを表現することができるようになった。</p> <p>（主体性）自分自身のこれまでの生き方やこれからの生き方について考えることができるようになった。</p>	<p>（知 技） ワークシート 単元テスト 定期考査</p> <p>（思判表） ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査</p> <p>（主体性） 授業態度・発表 課題提出</p>
	【言語事項】① 漢字の学び直し	<p>（知 技）常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになった。</p> <p>（思判表）主な常用漢字について、文や文章の中で適切に使い分けができるようになった。</p> <p>（主体性）習得漢字を振り返り、漢字検定に向けて目標をもつことができるようになった。</p>	<p>（知 技） 課題小テスト</p> <p>（思判表） 課題小テスト</p> <p>（主体性） 授業態度 課題提出</p>
前期末 まで (14時間)	【言語事項】② 漢字・語句の意味	<p>（知 技）常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。</p> <p>（思判表）主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けができるようになった。</p> <p>（主体性）習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標をもつことができるようになった。</p>	<p>（知 技） 課題小テスト</p> <p>（思判表） 課題小テスト</p> <p>（主体性） 授業態度 課題提出</p>

	<p>【書いて伝える】⑪</p> <p>1 整った文を書く 2 わかりやすい文を書く 3 文のつなぎ方 4 絵や写真を見て書く 実践トレーニング(1) 表現への扉1 * 単元テスト</p>	<p>(知 技)書き方の基本を理解することができるようになった。 (思判表)原稿用紙(縦書き・横書き)の使い方を確認し、相手に伝えることを意識して分かりやすい文章を書くことができるようになった。 (主体性)書くことや言葉の使い分けに関する文章を読み、自らの表現に活かすことができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
	<p>【読書】①</p>	<p>(知 技)人定図書室の図書の配置や貸し出しのルールを習得し、興味ある本の選書ができるようになった。 (思判表)読書のもつ意味について考えることができるようになった。 (主体性)学力向上に深く関わりがある読書活動に興味関心をもつことができるようになった。</p>	<p>(知 技) 選書し読書する (思判表) 選書し読書する (主体性) 選書し読書する</p>
後期中間 まで (18 時間)	<p>【言語事項】③ 漢字・語句の意味</p>	<p>(知 技)常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。 (思判表)主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けられるようになった。 (主体性)習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標をもつことができるようになった。</p>	<p>(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出</p>
	<p>【表現の実践】④ 詩歌を楽しむ(俳句・川柳)</p>	<p>(知 技)詩歌の修辞法の知識を実作に生かすことができるようになった。 句会の進行のしかたをおおむね理解することができるようになった。 (思判表)観察したり発見したことを、メモすることができるようになった。 詩歌の修辞法を用いて俳句や川柳を詠むことができるようになった。 句会において作者の思いを理解することができるようになった。 (主体性)吟行を楽しみ、実感で句を詠み、互いの表現のよさを見つけようとする態度を身に付けることができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>
	<p>【メディアを駆使する】⑪</p> <p>1 通信文を書き分ける 2 電話を使いこなす 3 ネット社会とコミュニケーション 4 メディアと情報 表現への扉4 * 単元テスト①</p>	<p>(知 技)情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用することができるようになった。 (思判表)異なる形式で書かれた複数の文章を読み、改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解することができるようになった。 (主体性)異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようという態度を養うことができるようになった。</p>	<p>(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出</p>

家庭学習 まで (10 時間)	【表現の実践】⑤ みんなで作ろう国語辞典	(知 技) 国語辞典の形式を理解し、自分なりの意味と解説を書くことができたようになった。 (思判表) 国語辞典に載っていない新しい言葉を解説したり、すでにある解説に新しい意味を加えたりすることで語彙を増やし、わかりやすい国語辞典を作ることができたようになった。 (主体性) 作成した国語辞典を鑑賞し、ことばを用いる場面を想像、自らの生活に活用することができるようになった。	(知 技) ワークシート 単元テスト 定期考査 (思判表) ワークシート 発問評価 単元テスト 定期考査 (主体性) 授業態度・発表 課題提出
	【言語事項】⑤ 漢字・語句の意味	(知 技) 常用漢字の読みや語句の意味を理解し、主な常用漢字や熟語・慣用句が書けるようになった。 (思判表) 主な常用漢字や語句について、文や文章の中で適切に使い分けることができるようになった。 (主体性) 習得漢字や語句を振り返り、漢字検定に向けて目標をもつことができたようになった。	(知 技) 課題小テスト (思判表) 課題小テスト (主体性) 授業態度 課題提出

使用教材 参考図書	【教科書】国語表現改訂版（大修館書店） 【その他】「実践文字カトリプルチェック」（尚文出版）
学習方法	<p>【主体的な学び】に関して</p> <p>家庭学習（予習・復習）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ教材を読み、漢字の読み・書き。語句の意味を確認し調べておく ・復習に力をいれ、教科書・ノートをよく見直し内容を再確認し、疑問点を明らかにする <p>授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的事項の繰り返し学習で、知識・技能の定着に努める ・板書を写すだけでなく、自主的にメモをとる <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見・感想をもつことから始め、考えをまとめることを丁寧に繰り返す ・授業者や他の生徒の意見、先哲の考え方などにも耳を傾ける <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を本時の学習内容と関連付けて、自分の考えをより深いものとし、さらに自分の考えを作り上げる
評価方法	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査・単元テスト・漢字などの小テスト <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査・単元テスト・漢字などの小テスト ・発問に対する解答や反応の観察 ・ワークシート・課題作文等 <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席・授業態度・ワークシート（振り返りができているか）・提出物

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2	開講 学年	4年
----	----	----	-------	-----	---	----------	----

学習目標	①（知識・技能） 自立した市民になるために必要な知識を身に付けることができるようになることを目指す。
	②（思考・判断・表現） 豊かな社会の実現をもたらす経済のしくみについて考えることができるようになることを目指す。
何ができ るように なるか	③（主体的に学習に取り組む態度） 多様な現代社会の課題に自らの答えを求めることができるようになることを目指す。

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (14時間)	1節 民主政治の基本原則	(知 技) 民主政治の成立について理解ができるようになった。 (思判表) 「法の支配」と法治主義の違いを考えることができるようになった。 (主体性) 民主政治の脆弱性と今日的な課題について自己の課題とすることができるようになった。	(知 技) 考查 シート提出 課題提出 (思判表) 考查 シート提出 課題提出 (主体性) 考查 シート提出 課題提出 授業態度
	2節 日本国憲法の基本原則 3節 日本の政治機構	(知 技) 行政機構のしくみや権限について知ることできるようになった。 (思判表) 日本国憲法と大日本帝国憲法を比較して、現行憲法の特徴を考えることができるようになった。 (主体性) 憲法第9条、集団的自衛権、国際貢献のあり方について自己の課題として考えることができるようになった。	(知 技) 考查 シート提出 課題提出 (思判表) 考查 シート提出 課題提出 (主体性) 考查 シート提出 課題提出 授業態度
前期期末 まで (14時間)	4節 現代政治の特質と課題 5節 現代の国際政治	(知 技) 国際社会の特徴、組織を理解できるようになった。 (思判表) 国際連盟と国際連合を比較し、改善点と今後の課題を考えることができるようになった。 (主体性) 地球環境問題の深刻さと身近な努力の重要性を自己の課題とすることができるようになった。	(知 技) 考查 シート提出 課題提出 (思判表) 考查 シート提出 課題提出 (主体性) 考查 シート提出

			課題提出 授業態度
	1節 現代の資本主義経済	<p>(知 技) 資本主義経済の歴史的成立と特徴を理解できるようになった。</p> <p>(思判表) 現代の資本主義経済と社会主義経済の変容の関係を考えることができるようになった。</p> <p>(主体性) 新自由主義をインターネットを利用して調べ、自己の課題とすることができるようになった。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>
後期中間 まで (18時間)	2節 現代経済のしくみ 3節 日本経済の発展と産業構造の変化	<p>(知 技) 金利や金融機関の役割について理解を深めることができるようになった。</p> <p>(思判表) 財政のしくみや日本の財政問題を考えることができるようになった。</p> <p>(主体性) 「格差社会」の実情を自分の課題として考えることができるようになった。</p>	C (知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度
	4節 福祉社会と日本経済の課題	<p>(知 技) 公害や環境問題の現状を知ることができるようになった。</p> <p>(思判表) 日本の農業のあるべき姿について考えることができるようになった。</p> <p>(主体性) 日本の社会保障制度の現状と課題を調べ、負担と給付のあり方を自己の課題とすることができるようになった。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度</p>
家庭学習 まで (10時間)	5節 国民経済と国際経済 1節 日本社会の諸課題	<p>(知 技) 地域社会を活性化するためにはどうすれば良いかを知ることができるようになった。</p> <p>(思判表) 若年層の雇用に関する課題と解決策を考えることができるようになった。</p> <p>(主体性) 日本の農業を取り巻く環境をいかに改善すべきかを自己の課題として考えることができるようになった。</p>	<p>(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出</p>

			(主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度
	2節 国際社会の諸課題	(知 技) 原子力等さまざまなエネルギーの特徴を知ることができるようになった。 (思判表) 紛争や対立の背景から解決。糸口を考えることができるようになった。 (主体性) 日本のNGOの取組に対して自己の参加を考えることができるようになった。	(知 技) 考査 シート提出 課題提出 (思判表) 考査 シート提出 課題提出 (主体性) 考査 シート提出 課題提出 授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】政治・経済（東京書籍） 【その他】新聞など各種メディアからの情報
学習方法 どのよう に学ぶか	【主体的な学び】 に関して ・分からない文章や言葉があれば、「チェック」を付け、できるだけ調べておくこと。 ・教科書を読んで、「なぜ?」「どうして?」と思ったことを記録しておくこと。 【対話的な学び】 に関して ・疑問に思ったことや与えられた課題に対して、自分なりの考えをもって授業に参加すること ・分からなかったことや疑問に思っていたことを、クラスの仲間と対話しながら解決しようとする姿勢で授業に参加すること。 【深い学び】 に関して ・クラスの仲間や先生との対話から、新しい発見や、さらなる疑問を見出し、それまでの自分の見方や考え方よりも、より広く深い見方や考え方ができるようになることを目指すこと。
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	【知識・技能】 について ・単元ごとの課題レポート ・定期考査 【思考・判断・表現】 について ・定期考査 ・単元ごとの課題レポート 【主体的に学習に取り組む態度】 について ・Google Classroomにおいてシートを提出 ・学習課題や授業に取り組む態度など

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	1	開講学年	4年
----	----	----	-----	-----	---	------	----

学習目標	<p>①（知識・技能） 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。</p> <p>②（思考・判断・表現） 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けることができる。</p> <p>③（主体的に学習に取り組む態度） 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。</p>
------	---

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	自己評価欄
前期中間 まで (7時間)	●図形と方程式 点と座標 7時間	<p>（知 技） 直線上、座標平面上の2点間の距離や、線分を内分する点・外分する点の座標を求めることができる。</p> <p>（思判表） 座標平面上の異なる2点から等しい距離にある点の座標を、2点間の距離を求めることに利用して考察できる。</p> <p>（主体性） 直線上の点や座標平面上の点について、いろいろな距離や座標を求めることに関心をもち、調べようとしている。</p>	知 技： 考査、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
前期末 まで (7時間)	直線の方程式 7時間	<p>（知 技） 座標平面上のいろいろな直線を方程式で表すことができる。直線の傾きに着目して、平行な2直線や垂直な2直線を調べることができる。</p> <p>（思判表） ある直線に平行な直線や垂直な直線について、その方程式を求めることを考察できる。</p> <p>（主体性） 座標平面上の直線の方程式について関心をもっている。</p>	知 技： 考査、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
後期中間 まで (9時間)	円の方程式 9時間	<p>（知 技） 座標平面上の円を方程式で表すことができる。円の方程式から、中心の座標や半径を求めることができる。</p> <p>（思判表） 円と直線の位置関係や共有点の個数について、考察できる。</p> <p>（主体性） 式の変形に数学Ⅰで学習した平方完成の知識が活用できることがわかり、関心をもっている。</p>	知 技： 考査、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
家庭学習 まで (5時間)	不等式の表す領域 5時間	<p>（知 技） 不等式の表す領域を求めることができる。</p> <p>（思判表） 不等式について、式の形を適切に変形することで不等式の領域を表せることを考察できる。</p> <p>（主体性） コンピュータなどを利用して、いろいろな不等式の表す領域を調べようとしている。</p>	知 技： 考査、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
使用教材 参考図書	<p>【教科書】：実教出版 高校数学Ⅱ 新訂版</p> <p>【その他】：</p>		

<p>学習方法</p> <p>どのよう に学ぶか</p>	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ」という疑問を大切に、問題解決の過程を重視するよう努めてください。 ・数学と生活との関連に目を向け、問題解決の目的意識をもち、数学を活用しようと努めてください。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着眼点や発想を、まずは自分なりに表現するよう努めてください。さらに、お互いに理解し合えるように分かりやすく説明し表現しようと努めてください。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのように考えたら上手くできたのか、どのようなことを利用したのか、以前に学習した内容と似ているところはないか、などのように、新たに学んだことを振り返るようにしてください。
<p>評価方法</p> <p>学習到達状 況をどのよ うに確認す るか</p>	<p>【知識・技能】について</p> <p>定期考査、単元テストや演習等の到達度で評価します</p> <p>【思考・判断・表現】について</p> <p>定期考査、単元テストや演習等の到達度で評価します。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <p>授業中の発表、質問、課題への取り組み等で評価します。</p>

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	数学	科目	数学B	単位数	2	開講 学年	4年
----	----	----	-----	-----	---	----------	----

学習目標	<p>①（知識・技能） 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。</p> <p>②（思考・判断・表現） 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けることができる。</p> <p>③（主体的に学習に取り組む態度） 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>
------	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	自己評価欄
前期中間 まで (14時間)	●数列 数列とその和 14時間	<p>（知 技） 等差数列と等比数列について理解し、一般項や和を求めることができる。</p> <p>（思判表） 数列の規則性について考察できる。等差数列の項数を求めてから、その和を求めることができる。</p> <p>（主体性） 身の回りの数の並びに規則性があるか調べ、数列として一般校を用いて表そうとしている。</p>	知 技： 考查、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
前期期末 まで (14時間)	いろいろな数列 8時間	<p>（知 技） 階差数列を利用して、もとの数列の一般項を求めることができる。</p> <p>（思判表） 階差数列ともとの数列の一般項との関係について考察することができる。</p> <p>（主体性） 階差数列を利用して、もとの数列の一般項を求めようとしている。</p>	知 技： 考查、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
	漸化式と数学的帰納法 6時間	<p>（知 技） 初項の値と漸化式から等差数列と等比数列の一般項を求めることができる。</p> <p>（思判表） 初項の値と $a_{n+1}=pa_n+q$ の形で表された漸化式から一般項を求めることができる。</p> <p>（主体性） 数列の隣り合う2つの項の関係について考えようとしている。</p>	
後期中間 まで (18時間)	●統計的な推測 確率変数 11時間	<p>（知 技） 確率変数の平均・分散・標準偏差を求めることができる。</p> <p>（思判表） 組合せを利用して確率変数の平均を求めることができる。</p> <p>（主体性） 身の回りのデータで、確率変数として考えられるものを見付け、その平均・分散・標準偏差を調べ、データの特徴を把握しようとしている。</p>	知 技： 考查、小テスト、演習 思判表： 同上 主体性： 発表、質問、課題
	正規分布 7時間	<p>（知 技） 正規分布にしたがう確率変数を標準化することができる。</p> <p>（思判表） 身の回りのデータを、正規分布を用いて考察し、特定の範囲にある個数などを求めることができる。</p> <p>（主体性） 身の回りのデータで、正規分布にしたがう確率変数があるか調べ、データの特徴を把握しようとしている。</p>	

<p>家庭学習 まで (10 時間)</p>	<p>正規分布 統計的な推測 10 時間</p>	<p>(知 技) 全数調査と標本調査の違いを理解している。標本平均の分布の特徴を理解している。 (思判表) 標本平均が特定の範囲となる確率を求めることができる。 (主体性) 全数調査や標本調査にはどのようなものがあるか調べようとしている。</p>	<p>知 技: 考査、小テスト、演習 思判表: 同上 主体性: 発表、質問、課題</p>
<p>使用教材 参考図書</p>	<p>【教科書】: 実教出版 高校数学B 新訂版 【その他】:</p>		
<p>学習方法 どのよう に学ぶか</p>	<p>【主体的な学び】に関して ・「なぜ」という疑問を大切に、問題解決の過程を重視するよう努めてください。 ・数学と生活との関連に目を向け、問題解決の目的意識をもち、数学を活用しようと努めてください。 【対話的な学び】に関して ・着眼点や発想を、まずは自分なりに表現するよう努めてください。さらに、お互いに理解し合えるように分かりやすく説明し表現しようと努めてください。 【深い学び】に関して ・どのように考えたら上手くできたのか、どのようなことを利用したのか、以前に学習した内容と似ているところはないか、などのように、新たに学んだことを振り返るようにしてください。</p>		
<p>評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか</p>	<p>【知識・技能】について 定期考査、単元テストや演習等の到達度で評価します 【思考・判断・表現】について 定期考査、単元テストや演習等の到達度で評価します。 【主体的に学習に取り組む態度】について 授業中の発表、質問、課題への取り組み等で評価します。</p>		

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	理科	科目	化学	単位数	3	開講 学年	4年
----	----	----	----	-----	---	----------	----

学習目標	①（知識・技能） 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けることを目指す
	②（思考・判断・表現） 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養うことを目指す
何ができ るように なるか	③（主体的に学習に取り組む態度） 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことを目指す

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（めざす状態）	評価物
前期中間 まで (21時間)	4編 無機物質 1章 周期表と元素 1節 周期表と元素 2章 非金属元素の単体と化合物 1節 水素と希ガス 2節 ハロゲンとその化合物 3節 酸素・硫黄とその化合物 4節 窒素・リンとその化合物 5節 炭素・ケイ素とその化合物 3章 典型金属元素の単体と化合物 1節 アルカリ金属とその化合物 2節 2族元素とその化合物 3節 1, 2族以外の典型金属元素とその化合物	(知 技) ●典型元素に関する実験などを行い、典型元素の性質が周期表に基づいて整理できることを理解することができるようになった (思判表) ●無機物質について、観察、実験などを通して探究し、典型元素における規則性や関係性を見いだして表現することができるようになった (主体性) ●化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができるようになった	(知 技) ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査 (思判表) ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査 (主体性) ・実験レポート ・授業の振り返り
前期期末 まで (21時間)	4編 無機物質 4章 遷移元素の単体と化合物 1節 遷移元素とその化合物 2節 金属イオンの分離・確認 5章 無機物質と人間生活 1節 金属の利用 2節 合金 3節 セラミックス	(知 技) ●遷移元素に関する実験などを行い、遷移元素の性質が周期表に基づいて整理できることを理解することができるようになった (思判表) ●無機物質について、観察、実験などを通して探究し、遷移元素における規則性や関係性を見いだして表現することができるようになった (主体性) ●化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができるようになった	(知 技) ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査 (思判表) ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査 (主体性) ・実験レポート ・授業の振り返り

<p>後期中間 まで (27 時間)</p>	<p>5 編 有機化合物 1 章 有機化合物の特徴と構造 1 節 有機化合物の特徴</p> <p>2 章 炭化水素 1 節 飽和炭化水素 2 節 不飽和炭化水素 3 節 有機化合物の分析</p> <p>3 章 アルコールと関連化合物 1 節 アルコールとエーテル 2 節 アルデヒドとケトン 3 節 カルボン酸とエステル 4 節 油脂とセッケン</p> <p>4 章 芳香族化合物 1 節 芳香族炭化水素 2 節 酸素を含む芳香族化合物 3 節 窒素を含む芳香族化合物</p> <p>5 章 有機化合物と人間生活 1 節 染料・医薬品 2 節 合成洗剤 3 節 食品</p>	<p>(知 技) ●有機化合物に関する実験などを行い、脂肪族、芳香族化合物の性質や反応を構造と関連付けて理解することができるようになった</p> <p>(思判表) ●有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、有機化合物、高分子化合物の性質における規則性や関係性を見いだして表現することができるようになった</p> <p>(主体性) ●化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができたようになった</p>	<p>(知 技) ・単元テスト ・実験の操作 ・定期考査 (思判表) ・問題演習 ・実験の考察 ・定期考査 (主体性) ・実験レポート ・授業の振り返り</p>
<p>家庭学習 まで (15 時間)</p>	<p>6 編 高分子化合物 1 章 天然高分子化合物 1 節 天然高分子化合物 2 節 単糖類・二糖類 3 節 多糖類 4 節 アミノ酸 5 節 タンパク質 6 節 核酸</p> <p>2 章 合成高分子化合物 1 節 合成高分子化合物 2 節 合成繊維 3 節 プラスチック (合成樹脂) 4 節 ゴム</p> <p>3 章 高分子化合物と人間生活 1 節 機能性高分子 2 節 プラスチックの再生処理</p>	<p>(知 技) ●合成高分子化合物の構造、性質及び反応について理解することができるようになった</p> <p>●天然高分子化合物の構造や性質について理解することができるようになった</p> <p>(思判表) ●高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、有機化合物、高分子化合物の性質における規則性や関係性を見いだして表現することができるようになった</p> <p>(主体性) ●化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養うことができたようになった</p>	<p>(知 技) ・単元テスト ・実験の操作 (思判表) ・問題演習 ・実験の考察 (主体性) ・実験レポート ・授業の振り返り</p>

使用教材 参考図書	【教科書】：改訂 新編化学（東京書籍）
学習方法 どのよう に学ぶか	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を受ける前に教科書をしっかり読んでおくこと。 ・疑問点（詳しく知りたいと思った所やよく理解できなかった所）に印を付けておくこと。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問点の解決及び授業目標の達成に向けてクラスメイトと協力して授業を受けること。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で作成したノートを用い、その日のうちにその日の授業の流れを思い出すこと。
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実験操作」、「単元テスト」、「定期考査」など <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実験の考察」、「確認テスト」、「定期考査」など <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実験レポート」、「ノート」など

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3	開講 学年	4年
----	------	----	----	-----	---	----------	----

学習目標 何ができるようになるか	①（知識・技能） 運動の多様性や体力の必要性について理解できることを目指す 仲間と適切な関係を築き、合理的な実践ができるようになることを目指す ②（思考・判断・表現） 課題を発見し、課題解決の過程を思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えられるようになることを目指す ③（主体的に学習に取り組む態度） 公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人を大切にしようとするとともに、健康・安全を確保できるようになることを目指す
-------------------------	--

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (21時間)	◎体づくり運動 ●球技Ⅰ (バドミントン・ソフトテニス) ※ネット型	(知 技) ●状況に応じたラケットの操作ができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
前期期末 まで (21時間)	●ダンス	(知 技) ●感じを込めて踊ったり自己や仲間の課題を解決したりできるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
	●球技Ⅱ (バレーボール) ※ネット型	※ネット型 (知 技) ●連携した動きをすることができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	
後期中間 まで (27時間)	●球技Ⅲ (バドミントン) ※ネット型	※ネット型 (知 技) ●動きによって空間を作り出す攻防をすることができるようになった (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・授業感想提出 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
家庭学習 まで (15時間)	●球技Ⅳ (バスケットボール・サッカー) ※ゴール型	※ゴール型 (知 技) ●空間を埋める動きができるようになった。 (思判表) ●自己や仲間の考えたことを他者に伝える事ができるようになった (主体性) ●健康安全を確保し、互いに助け合いができるようになった	(知 技) ・スキルテスト (思判表) ・端末での感想 (主体性) ・出席状況 ・授業態度
	◎体育理論 ※後期期末考査後から	※体育理論 (知 技) ●豊かなスポーツライフの設計について理解することができるようになった。	

使用教材 参考図書	【教科書】： なし 【その他】： なし
学習方法	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの課題に対してアドバイスを聞いたり、練習したりする。 ・ 種目の特性やルール、行い方などを調べる。 ・ 皆と協力して活動する。 <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間の課題に対してアドバイスしたり、課題を共有したりして改善するよう話し合う。 ・ 動画を確認して互いの課題解決に向けて練習する。 <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決の実践方法を得るなど、合理的な実践ができるように、ICT を有効活用し、課題解決に向けた調べ学習などを行う。
どのよう に学ぶか	
評価方法	<p>【知識・技能】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スキルテスト（実技）、端末等を使って動画撮影によるスキルテスト <p>【思考・判断・表現】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループ活動、端末等を使っての授業の感想の提出 <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間の点呼（出席状況）、授業態度 等
学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	
準備物	<p>Chromebook 等の端末、 運動のできる服（夏：半袖シャツ、ハーフパンツ 冬季：上下ジャージ） 体育館シューズ、グラウンドシューズ※運動のできない服装での参加は不可。例：ジーパン、スカート、制服 等</p>

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	外国語	科目	英語表現Ⅰ	単位数	2	開講 学年	4年
----	-----	----	-------	-----	---	----------	----

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習目標	話すこと[やり取り]	<p>「知識」 やり取りの際に必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになることを目指す。</p> <p>「技能」 説明や描写の表現を工夫して聞き手、話し手と効果的に伝え合うことができるようになることを目指す。</p>	<p>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて伝え合うことができるようになることを目指す。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語で伝え合おうとすることができるようになることを目指す。</p>
	話すこと[発表]	<p>「知識」 発表する際に必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになることを目指す。</p> <p>「技能」 説明や描写の表現を工夫して聞き手に効果的に伝えることができるようになることを目指す。</p>	<p>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて伝えることができるようになることを目指す。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語で伝えようとするようになることを目指す。</p>
	書くこと	<p>「知識」 書くことに必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになることを目指す。</p> <p>「技能」 説明や描写の表現を工夫して読み手に効果的に書いて伝えることができるようになることを目指す。</p>	<p>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて書いて伝えることができるようになることを目指す。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的に英語で書こうとすることができるようになることを目指す。</p>

何ができるようになるか

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (14 時間)	L 1 文の種類 L 2 文型と動詞 L 3 時制	【話すこと（やりとり）】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる (主体性) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを主体的に話し合おうとすることができる	(知 技) ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・授業中課題 ・中間考査 (主体性) ・授業態度
前期期末 まで (14 時間)	L 4 完了形 L 5 助動詞 L 6 受動態	【書くこと】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる	(知 技) ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・授業中課題 ・期末考査 (主体性) ・授業態度
後期中間 まで (18 時間)	L 7 不定詞 L 8 動名詞	【話すこと（発表）】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとするすることができる	(知 技) ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・授業中課題 ・中間考査 (主体性) ・授業態度
後期期末 まで (14 時間)	L 9 分詞 L 10 関係詞		(知 技) ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・授業中課題 ・期末考査 (主体性) ・授業態度
終業式 まで (4 時間)	L 11 比較 L 12 仮定法		(知 技) ・小テスト (思判表) ・授業中課題 (主体性) ・授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】: Vision Quest English Expression 1 Core (英語表現 1) 【その他】: 補助プリント
学習方法 どのように に学ぶか	【主体的な学び】に関して 教科書の内容を予習し、自分の課題を見つけ、授業の中で解決できるようにする。 【対話的な学び】に関して 分からないことは積極的に先生やクラスメイトに尋ねることができるようにする。 相手の意見を尊重しながら、自分の意見も発信できるようにする。 【深い学び】に関して 異文化を理解するため、教科書の内容だけでなく、クロームブックを活用しながら他国のこと や自国のことについて調べて、まとめることができるようにする。
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	【知識・技能】について 課題考査、定期考査、パフォーマンステスト等 【思考・判断・表現】について 課題考査、定期考査、授業中課題、パフォーマンステスト等 【主体的に学習に取り組む態度】について 授業態度、提出物、ポートフォリオ等

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	外国語	科目	英語論理表現	単位数	1	開講 学年	4年
----	-----	----	--------	-----	---	----------	----

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習目標	話すこと[やり取り]	<p>「知識」 やり取りの際に必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになる。</p> <p>「技能」 説明や描写の表現を工夫して聞き手、話し手と効果的に伝え合うことができるようになる。</p>	<p>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて伝え合うことができるようになる。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語で伝え合おうとすることができるようになる。</p>
	話すこと[発表]	<p>「知識」 発表する際に必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになる。</p> <p>「技能」 説明や描写の表現を工夫して聞き手に効果的に伝えることができるようになる。</p>	<p>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて伝えることができるようになる。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語で伝えようとするようになる。</p>
	書くこと	<p>「知識」 書くことに必要な英語の特徴や決まりに関する事項が理解できるようになることを目指す。</p> <p>「技能」 説明や描写の表現を工夫して読み手に効果的に書いて伝えることができるようになる。</p>	<p>聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えについて書いて伝えることができるようになる。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的に英語で書こうとすることができるようになる。</p>
何が できる ように なるか				

期間	単元 (学習内容)	評価規準：学習の到達状況 (めざす状態)	評価物
前期中間 まで (7 時間)	UNIT 0 UNIT 1 UNIT 2	【話すこと (やりとり)】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる (主体性) ●関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを主体的に話し合おうとすることができる	(知 技) ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・授業中課題 ・中間考査 (主体性) ・授業態度
前期期末 まで (7 時間)	UNIT 3 UNIT 4	【書くこと】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、書いて伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に書こうとすることができる	(知 技) ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・授業中課題 ・期末考査 (主体性) ・授業態度
後期中間 まで (9 時間)	UNIT 5 UNIT 6	【話すこと (発表)】 (知 技) ●使用された文法事項が理解できる (思判表) ●関連する話題について、聞いたり読んだりしたことを、論理性に注意して話して伝えることができる (主体性) ●関連する話題について、主体的に伝えようとするすることができる	(知 技) ・小テスト ・中間考査 (思判表) ・授業中課題 ・中間考査 (主体性) ・授業態度
後期期末 まで (7 時間)	UNIT 7 UNIT 8		(知 技) ・小テスト ・期末考査 (思判表) ・授業中課題 ・期末考査 (主体性) ・授業態度
終業式 まで (2 時間)	UNIT 9 UNIT 10		(知 技) ・小テスト (思判表) ・授業中課題 (主体性) ・授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】：基礎からのジャンプアップノート 英作文 演習ドリル 【その他】：補助プリント
学習方法 どのよう に学ぶか	【主体的な学び】に関して 教科書の内容を予習し、自分の課題を見つけ、授業の中で解決できるようにする。 【対話的な学び】に関して 分からないことは積極的に先生やクラスメイトに尋ねることができるようにする。 相手の意見を尊重しながら、自分の意見も発信できるようにする。 【深い学び】に関して 異文化を理解するため、教科書の内容だけでなく、クロームブックを活用しながら他国のことや自国のことについて調べて、まとめることができるようにする。
評価方法 学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	【知識・技能】について 課題考査、定期考査、パフォーマンステスト等 【思考・判断・表現】について 課題考査、定期考査、授業中課題、パフォーマンステスト等 【主体的に学習に取り組む態度】について 授業態度、提出物、ポートフォリオ等

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	商業	科目	簿記	単位数	2	開講学年	4年
----	----	----	----	-----	---	------	----

学習目標	①（知識・技能） 簿記の実務に即した体系的・系統的な理解及び関連する技術を身に付けることができるようになることを目指す。
	②（思考・判断・表現） 取引の記録と財務諸表の作成方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けることができるようになることを目指す。
何ができるようになるか	③（主体的に学習に取り組む態度） 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協動的に取り組むことができるようになることを目指す。

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (14時間)	第25章 設立と開業の記帳 第26章 剰余金の処分に関する記帳 第27章 株式会社の税金の記帳 (4時間)	(知 技) 株式会社の取引の記帳に関する知識や技術を身に付けることができるようになった。 (思判表) 株式会社の取引についての疑問点を考え、各場面において適切に判断し記帳できるようになった。 (主体性) 株式会社の取引に関心をもち、自分から進んで問題演習に取り組むことができるようになった。	(知 技) ・ 考査、単元テ (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	第1章 簿記の基礎 (1時間) 第2章 日常の手続き (1時間)	(知 技) 資産・負債・純資産・収益・費用の意味に関する基礎基本的な知識を理解し、関係帳簿が作成できるようになった。 (思判表) 勘定の必要性や貸借平均、資本の増減と収益・費用の関係について思考を深めることができるようになった。 (主体性) 簿記の基礎的内容や簿記の原理について関心をもち、進んで問題演習に取り組むことができるようになった。	
	第3章 商品売買Ⅰ (1時間) 第4章 商品売買Ⅱ (2時間) 第5章 現金預金 (3時間) 第6章 小口現金	(知 技) 商品売買取引など個人企業における基本的な取引の構造を理解し、記帳に関する基礎基本的な処理ができるようになった。 (思判表) 仕訳や各補助簿の役割について考察することができるようになった。 (主体性) 個人企業における取引の記帳に関心をもち、進んで問題演習に取り組むことができるようになった。	
	第7章 クレジット売掛金 第8章 手形取引 第9章 電子記録債権・債務 (3時間)	(知 技) 債権・債務の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解し、会計処理ができるようになった。 (思判表) 債権・債務に関する取引に自ら思考を深め、知識と技術を活用して適切に判断し、表現する力できるようになった。 (主体性) 債権・債務の取引の記帳に関心をもち、進んで問題演習に取り組むことができるようになった。	
前期期末 まで (14時間)	第10章 さまざまな帳簿の関係 (4時間)	(知 技) 当座取引や商品売買取引の会計処理の仕方を理解し、関係帳簿を作成できるようになった。 (思判表) 仕訳や各補助簿の役割について考察することができるようになった。 (主体性) 当座取引や商品売買取引に関心をもち、進んで問題演習に取り組むことができるようになった。	(知 技) ・ 考査、単元テ (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度

	<p>第11章 その他の取引Ⅰ 第12章 その他の取引Ⅱ 第13章 その他の取引Ⅲ (5時間)</p>	<p>(知 技) 固定資産や金融財産などの取引における内容について理解し、記帳に関する基礎基本的な処理ができるようになった。 (思判表) 固定資産や金融財産などの内容を考察することができるようになった。 (主体性) 固定資産や金融財産などの内容の記帳に関心を持ち、進んで問題演習に取り組むことができるようになった。</p>	
	<p>第14章 訂正仕訳 第15章 試算表 第16章 決算 (5時間)</p>	<p>(知 技) 決算手続きの意味を理解し、決算を行うための知識と技術を身に付けることができるようになった。 (思判表) 決算整理を行う必要性について考えることができるようになった。 (主体性) 決算整理を伴う決算手続きについて関心を持ち、自分から進んで問題演習に取り組むことができるようになった。</p>	
<p>後期中間 まで (18時間)</p>	<p>第17章 決算整理Ⅰ 第18章 決算整理Ⅱ 第19章 決算整理Ⅲ 第20章 決算整理Ⅳ 第21章 決算整理Ⅴ 第22章 決算整理Ⅵ (8時間)</p>	<p>(知 技) 費用・収益の繰り延べと見越しなど新しい決算整理の意味を理解し、財務諸表の作成に関する知識と技術を身に付けることができるようになった。 (思判表) 期間損益計算の観点や評価勘定の観点について考察することができるようになった。 (主体性) 新しい決算整理事項に関心を持ち、進んで問題演習に取り組むことができるようになった。</p>	<p>(知 技) ・ 考査、単元テ (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度</p>
	<p>第23章 決算整理後残高 試算表 (4時間) 第24章 精算表 (3時間) 第25章 損益計算書と貸借 対照表 (3時間)</p>	<p>(知 技) やや進んだ決算整理の意味を理解し、試算表や精算表を完成できるようになった。 (思判表) やや進んだ決算整理事項に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現できるようになった。 (主体性) やや進んだ決算整理を伴う決算手続きについて関心を持ち、自分から進んで問題演習に取り組むことができるようになった。</p>	
<p>家庭学習 まで (10時間)</p>	<p>第26章 株式の発行 (1時間) 第27章 剰余金の配当と 処分 (2時間) 第28章 税金 (2時間) 第29章 証ひょうと伝票 (5時間)</p>	<p>(知 技) 株式会社の概要や剰余金の配当と処分・税金に関する基本的な内容とその記帳法を理解し、その会計処理ができた。また、仕訳帳との違いを含めて伝票の意味と作成方法を理解し、伝票の起票・集計・転記を適切に行うことができるようになった。 (思判表) 株式会社の剰余金の配当と処分・税金に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現できるようになった。また、入金取引、出金取引、その他の取引にどの伝票を用いるかの判断を通じて、記帳の合理化を考えることができるようになった。 (主体性) 各章で学んだ内容に関心を持ち、自分から進んで問題演習に取り組むことができるようになった。</p>	<p>(知 技) ・ 考査、単元テ (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度</p>

<p>使用教材 参考図書</p>	<p>【教科書】：「新簿記 新訂版」(実教出版) 【その他】：全商簿記問題集(実教)・日商簿記問題集(TAC)・原価計算問題集(実教)</p>
<p>学習方法</p>	<p>【主体的な学び】に関して 実務に即した例題を取り入れた学習活動に粘り強く取り組んでください。 【対話的な学び】に関して 取引の記録と財務諸表の作成方法についてグループで考察し討論を行います。 【深い学び】に関して 企業会計に関する法規と基準の改正などに随時対応できるようになってください。また、株式会社の取引に関する記帳や製造業の簿記(原価計算)のしくみに関心を持ちましょう。</p>
<p>どのよう に学ぶか</p>	

<p>評価方法</p> <p>学習到達状 況をどのよ うに確認す るか</p>	<p>【知識・技能】について 定期考査、単元テスト、記帳問題</p> <p>【思考・判断・表現】について 財務諸表の作成、発表、グループでの話し合い、定期考査</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について ノートやワークシート等における記述、授業中の発言、検定試験</p>
---	--

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	商業	科目	情報処理	単位数	2	開講学年	4年
----	----	----	------	-----	---	------	----

学習目標	①（知識・技能） 企業において情報を扱うことについての実務に即した体系的・系統的な理解及び関連する技術を身に付けることができるようになることを目指す。
	②（思考・判断・表現） 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けることができるようになることを目指す。
何ができるようになるか	③（主体的に学習に取り組む態度） 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組むことができるようになることを目指す。

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	評価物
前期中間 まで (14時間)	1 ビジネス情報の処理と分析 (1) 関数を利用した表の作成 (6時間) (2) グラフの作成 (3時間)	(知 技) 表計算ソフトウェアの特徴、関数の書式や機能、データのグラフ化などについて理解できるようになった。 (思判表) 問題を分析し、表計算ソフトウェアの機能を用いて、適切な表やグラフを作成できるようになった。 (主体性) 表計算ソフトウェアによる業務の合理化やデータをグラフ化することに関心をもち、問題解決に活用しようとするようになった。	(知 技) ・ 考査、単元テ (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	2 ビジネス文書の作成 (1) 図形と画像の活用 (2) 応用文書の作成 (5時間)	(知 技) ワープロの基本操作や編集機能について理解し、文書作成に活用できるようになった。 (思判表) 文書作成方法を理解し、効果的な文書作成に役立てることができるようになった。 (主体性) 編集機能や効果的な文書作成方法を習得しようとする興味をもって操作ができるようになった。	(知 技) ・ 考査、単元テ (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
前期期末 まで (14時間)	(3) 情報の整列・検索・抽出 (2時間) (4) ビジネスと統計 (2時間)	(知 技) 整列や検索、統計の目的や活用方法を理解し、整列や検索及び抽出、効率的な分析をすることができるようになった。 (思判表) 問題を分析し、データを取り出すための手段や手順、分析手法について考えることができるようになった。 (主体性) 表のデータや統計資料を分析することについて関心をもち、積極的に習得しようとするようになった。	(知 技) ・ 考査、単元テ (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	3 企業と法務 (1) 会計・財務 (2) 関連法律・ガイドライン・情報倫理 (4時間)	(知 技) 企業会計や関係機関等の規範、経営手法分析、マーケティングに関連する基本的な考え方について理解できるようになった。また、流通・金融に関するシステムの特徴を理解できるようになった。 (思判表) 各項目の考え方に基づいて、効果的な活用ができるようになった。また、それぞれの用語について説明ができるようになった。 (主体性) 企業経営活動に興味をもち、発展的な学習内容（その他の経営手法）について、自ら調べるようになった。	(知 技) ・ 考査、単元テ (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	4 経営戦略 (1) 経営戦略手法 (2) マーケティング (3) ビジネスインダストリ (6時間)	(知 技) 情報システム戦略の意義と目的、業務改善、問題解決などに向けた考え方、システム化計画の目的を理解できるようになった。	(知 技) ・ 考査、単元テ
	5 システム戦略 (1) システム戦略 (2) システム企画	(知 技) 情報システム戦略の意義と目的、業務改善、問題解決などに向けた考え方、システム化計画の目的を理解できるようになった。	(知 技) ・ 考査、単元テ

後期中間 まで (18時間)	(2) システム企画 (4時間)	また、業務モデルにおける代表的なモデリングの考え方を理解できるようになった。 (思判表) 企業における業務のシステム化について考察することができるようになった。 (主体性) 企業のシステム化に興味をもち、自分の生活の改善に活用しようとするようになった。	(思判表) ・課題提出 (主体性) ・授業態度
	6 開発技術 (1) システム開発技術 (2) ソフトウェア開発管理技術 (4時間)	(知 技) システム開発のプロセスの基本的な流れ、見積りの考え方、代表的な開発手法に関する概要、意義及び目的を理解できるようになった。 (思判表) システム開発の必要性について、考察することができるようになった。 (主体性) 開発技術に興味をもち、分からないことことがらを自ら進んで調べるようになった。	(知 技) ・ 考査、単元テ (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	7 基礎理論 (1) 基礎理論 (2) アルゴリズムとプログラミング (6時間)	(知 技) 情報のデジタル化やアルゴリズムの基本的な考え方、プログラム言語やプログラミングの役割の種類、特徴を理解できるようになった。 (思判表) プログラミング言語の問題の適切な解答を導きだすことができるようになった。 (主体性) プログラミングに興味をもち、積極的に問題演習に取り組むことができるようになった。	(知 技) ・ 考査、単元テ (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
	8 コンピュータシステム (1) コンピュータの構成要素 (2) システム構成要素 (3) ソフトウェア (4) ハードウェア (4時間)	(知 技) コンピュータの基本的な構成とOSについて、ソフトウェアパッケージの特徴、入出力装置の種類の特徴を理解できるようになった。 (思判表) 利用目的に応じてハードウェアやソフトウェアを選択することができるようになった。 (主体性) コンピュータに興味をもち、積極的に活用することができるようになった。	(知 技) ・ 考査、単元テ (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度
家庭学習 まで (10時間)	9 プレゼンテーション (1) プレゼンテーションの技法 (4時間) (2) ビジネスとプレゼンテーション (6時間)	(知 技) プレゼンテーションの目的や流れの概要、分かりやすい資料作成のための基本的な表現技法について理解できるようになった。 (思判表) 資料の作成や話し方などについて考察し、効果的なプレゼンテーションを実施することができるようになった。 (主体性) 効果的なプレゼンテーションの仕方、発表などの実習に興味をもち、積極的に学ぼうとするようになった。	(知 技) ・ 考査、単元テ (思判表) ・ 課題提出 (主体性) ・ 授業態度

使用教材 参考図書	【教科書】：「情報処理 新訂版」(実教出版) 【その他】：ITパスポート問題、全商情報処理検定試験問題集、各種メディアからの情報
学習方法	【主体的な学び】に関して 企業活動や経営管理の技法や法規に関して、分からないことは積極的に質問してください。 【対話的な学び】に関して 企業活動や経営管理の技法や法規に関する事例について自分の考えをまとめたり、発言したりするなどの表現活動に積極的に取り組んでください。 【深い学び】に関して 企業の財政状態や経営成績などの把握と会計情報の活用ができるようになってください。
どのよう に学ぶか	
評価方法	【知識・技能】について 定期考査、単元テスト、実技テスト 【思考・判断・表現】について 作品の作成、発表、グループでの話し合い、定期考査 【主体的に学習に取り組む態度】について ノートやワークシート等における記述、実技テスト、自己評価や相互評価等、検定試験
学習到達状 況をどのよ うに確認す るか	

令和6（2024）年度 熊本県立人吉高等学校 定時制 シラバス

教科	家庭	科目	フードデザイン	単位数	2	開講 学年	4年
----	----	----	---------	-----	---	----------	----

学習目標	①（知識・技能） 栄養、食品、献立、調理などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることができるようになることを目指す
	②（思考・判断・表現） 食生活の現状から課題を発見し、解決に向けて望ましい食習慣の形成や環境に配慮した食生活の工夫を考えることができるようになることを目指す
何が できる ように なるか	③（主体的に学習に取り組む態度） 食生活の現状と課題を把握し、食生活の充実を目指し、協働的に取り組むことができるようになることを目指す

期間	単元（学習内容）	評価規準：学習の到達状況（目指す状態）	自己物
前期中間 まで (14時間)	第1章 健康と食生活 ・ 食事の意義と役割 ・ 食を取り巻く現状	（知 技）●・中食、外食、内食が理解できるようになった ・ 地産地消、ポストハーベスト、遺伝子組換え作物の定義を理解できるようになった ・ 日本の食生活の変化をグラフから読み取ることができるようになった （思判表）●・日本人の栄養摂取の特徴と問題点を知り、自分の食生活を振り返ることができるようになった ・ 日本の食生活は、海外の負担なくして成り立っていないことを理解することができるようになった （主体性）●自らの食生活を振り返ることができるようになった	（知 技） ・ 定期考査 ・ ワークシート （思判表） ・ 定期考査 ・ ワークシート （主体性） ・ ワークシート
	第2章 栄養素・食品の特徴 ・ 栄養素の働き	（知 技）●栄養素の役割、種類が科学的に理解できるようになった （思判表）●からだの中で、それぞれの栄養素がどのような働きをしているのかを考えることができるようになった （主体性）●家庭総合の学習を踏まえ、五大栄養素の働きを振り返ることができるようになった	（知 技） ・ 定期考査 ・ ワークシート （思判表） ・ 定期考査 ・ ワークシート （主体性） ・ ワークシート
	第4章 調理実習 ・ 調理実習に入る前に ・ 日常食：日本料理献立	（知 技）●調理実習の際の衛生面等の留意事項を理解し、行動できるようになった （思判表）●食事のテーマに応じた配膳ができるようになった （主体性）●身支度、手洗いを励行できるようになった	（知 技） ・ 定期考査 ・ 調理実習 ・ 実習の記録 （思判表） ・ 調理実習 ・ 実習の記録 （主体性） ・ 調理実習 ・ 実習の記録
前期期末 まで (14時間)	第2章 栄養素・食品の特徴 ・ 健康に必要な栄養素 ・ 食品の特徴	（知 技）●・食品の特徴、調理性、加工について理解できるようになった ・ 栄養素ではないが、水もからだを維持するために大切な要素であることを理解できるようになった （思判表）●栄養素と食品の学習を結び付け、日常の食事の改善点について考えることができるようになった	（知 技） ・ 定期考査 ・ ワークシート （思判表） ・ 定期考査 ・ ワークシート

		た (主体性) ●食品に関わることを調べ、まとめることができるようになった	(主体性) ・ワークシート
	第4章 調理実習 ・日常食：中国料理献立 ・日常食：洋風料理献立	(知 技) ●調理実習の際の衛生面等の留意事項を理解し、行動できるようになった (思判表) ●食事のテーマに応じた配膳ができるようになった (主体性) ●身支度、手洗いを励行できるようになった	(知 技) ・定期考査 ・調理実習 ・実習の記録 (思判表) ・調理実習 ・実習の記録 (主体性) ・調理実習 ・実習の記録
後期中間 まで (18時間)	第2章 栄養素・食品の特徴 ・食品加工の目的 ・食品の選択と取り扱い	(知 技) ●・身の回りの加工食品と、加工の目的が理解できるようになった ・食中毒の特徴を知り、リスクを減らす技術を身に付けることができるようになった (思判表) ●・身近な食品の加工について想像することができるようになった ・食品に記載された情報の正しい見方を知り、食品選択に役立てることができるようになった (主体性) ●食中毒の危険性について知り、正しい予防ができるようになった	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・ワークシート
	第3章 調理と献立 ・調理の基本 ・ライフステージと食事計画	(知 技) ●・調理の目的や操作について理解できるようになった ・各ライフステージの栄養について理解できるようになった (思判表) ●・食品のもつ調理性や特徴を献立作成に活かすことができるようになった ・食事のテーマに応じた調理操作を考え、作業の計画を立てることができるようになった (主体性) ●「日本人の食事摂取基準」や「4つの食品群による摂取量のめやす」などを活用し、ライフステージに応じた食事計画を立てることができるようになった。	(知 技) ・定期考査 ・ワークシート (思判表) ・定期考査 ・ワークシート (主体性) ・ワークシート
	第4章 調理実習 ・日常食：日本料理献立 ・日常食：洋風料理献立	(知 技) ●調理実習の際の衛生面等の留意事項を理解し、行動できるようになった (思判表) ●食事のテーマに応じた配膳ができるようになった (主体性) ●身支度、手洗いを励行できるようになった	(知 技) ・定期考査 ・調理実習 ・実習の記録 (思判表) ・調理実習 ・実習の記録 (主体性) ・調理実習 ・実習の記録
家庭学習 まで (10時間)	第3章 調理と献立 ・食文化を見つめる	(知 技) ●・年中行事や地域の郷土料理など食と生活のかかわりを理解できるようになった ・日本料理の献立や作法について興味をもち、その内容を理解できるようになった (思判表) ●・それぞれの時代についての問題点や消費者としてのあり方も含めて考えていくことができるようになった ・からだの中で栄養素がどのような働きをするのかを	(知 技) ・ワークシート (思判表) ・ワークシート (主体性) ・ワークシート

		<p>考え、各ライフステージにおける適した食事について判断することができるようになった</p> <p>(主体性) ●近年の食生活の実態を自ら調査したり、その生活を想像し情報を整理したりすることができるようになった</p>	
	<p>第4章 調理実習</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事食：クリスマス料理 行事食：正月料理 	<p>(知 技) ●調理実習の際の衛生面等の留意事項を理解し、行動できるようになった</p> <p>(思判表) ●食事のテーマに応じた配膳ができるようになった</p> <p>(主体性) ●身支度、手洗いを励行できるようになった</p>	<p>(知 技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調理実習 実習の記録 <p>(思判表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調理実習 実習の記録 <p>(主体性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調理実習 実習の記録

使用教材 参考図書	<p>【教科書】：「フードデザイン 新訂版」 実教出版</p> <p>【その他】：新聞記事など</p>
<p>学習方法</p> <p>どのよう に学ぶか</p>	<p>【主体的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業を受けながら、大切だと感じた箇所等にアンダーラインを引く 自らの食生活の現状から、課題を見出し、その解決を図りながら、実践、改善等を行う <p>【対話的な学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> 单元ごとに新聞記事やグラフの読み取りを行い、自分の考えをまとめ、班で意見交換を行う <p>【深い学び】に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> 新聞記事等を利用し、学んだことをリンクさせ、深い学びに繋げる 実験、実習を通して、知識を深める
<p>評価方法</p> <p>学習到達状 況をどのよ うに確認す るか</p>	<p>【知識・技能】について</p> <p>定期考査、単元小テスト、調理実習</p> <p>【思考・判断・表現】について</p> <p>定期考査、単元小テスト、調理実習、実習の記録、ワークシート、発表</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】について</p> <p>定期考査、調理実習、実習の記録、ワークシート、授業態度</p>